

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 9月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000022		
法人名	社会福祉法人 誠心福社会		
事業所名	誠心園グループホーム		
所在地	広島県江田島市江田島町宮ノ原三丁目18番66号 (電話) 0823-42-6177		
自己評価作成日	令和5年8月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3495000022-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム周辺は木々に囲まれ落ち着いた雰囲気、施設内部も自然の採光をがあり明るくゆったりと過ごせる空間となっております。周りの庭には季節の野菜を育てたり、サクランボ、柿、栗などの木があり共に収穫し、利用者様と一緒に調理し季節を体感して頂く事を大切にしています。その人その人の出来る事を実現できるようにスタッフ全員が認知症ケアの専門職として、話し合い取り組みを行っております。利用者様が望まれる生活スタイルを尊重し、ひとりひとりに合った支援を形づくることで誠心園グループホームの目指す「普通で当たり前な生活」を追及できると考え日々努力をしております。最近では利用者様の高齢化もありご家族とも日常的な連絡を大切にしております。必要時にはかかりつけ医に連絡し早急な対応が出来るよう医療的なニーズにも対応しております。これからもご利用者様に安心して生活して頂けるよう、優しく和やかに利用者様と共に歩いて参りたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

周囲の自然の中で季節を感じられるよう配慮された環境下で「我が家のような普通で当たり前の生活」作りを目指しており、その理念を基に事業所の年間事業計画と分かりやすい事業所目標を策定・検証し運営推進会議で報告している。即ち「本人と共に過ごし支えあう関係」作りとして、コロナ禍のため事業所内で出来る活動を工夫し、利用者の生活歴から馴染みのある事が不安なく継続できる様支援し、今出来る事に着目し自信に繋がる事を大切にしている。例えば、元々畑仕事が得意な利用者の強みを活かし今年から職員と中庭で菜園作りを始めた経緯がある。又、人材育成についても職員は各自認知症ケアの専門職として研鑽に取り組んでいるが、共に働く外国の技能実習生の笑顔や接遇を通して「介護の原点」に気づき、スキルアップに努めている。

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	普通で当たり前の生活を理念に掲げ本人のニーズを把握しアセスメントを行う。それに基づき、職員同士が共有し実践することで本人が望まれる生活に近づける支援を行っている。職員一人一人が認知症ケアの専門職として意識を持ち本人の能力を活かせる支援をおこなっている。	開設時に作った理念をケア実践上の道標として事務所に掲示、申し送り時に唱和して周知に努めている。理念をもとに事業所の年間事業計画と分かりやすい事業所目標を策定・更新し、運営推進会議で報告している。更に各職員の業務目標管理も導入し半期毎の個人面談で達成度を検証している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方々とは、行事や災害時の協力など地域とのつながりを日頃より大切にしており定期的に運営推進会議にも参加していただいている。	日頃から散歩で地域住民と挨拶を交わしたり、地域の美容院の利用、地域サロンへの参加、実家への外出・外泊、受診、紅葉狩りドライブ等で地域に出ている。又、家族の面会、運営推進会議の参加者から地域情報を得たり、地域からの事業所見学を受け入れる等、地域との相互交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター育成研修などランチと協力し、地域の認知症についての理解を深める取り組みを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	令和4年度はコロナ対応のため書面で行った。今年度からは運営推進会議で様々な立場の方々の意見をいただき、ご利用者様への支援の振り返りや接遇面の改善につなげている。	会議は三か月毎に開催し、昨年度はコロナ禍で書面会議となり、今年度は利用者家族・市高齢介護課職員・地区区長等との対面会議となっている。ヒヤリハット・事故等、事業所の現況・行事報告を参加者の意見交換と共にを行い、地域行事情報の取得や事業所活動の方針等を伝えている。	会議には家族・市高齢介護課職員・地区区長等、多様な職種の参加を得ているが、コロナ禍であり家族の参加は少ない。不参加家族との事業所運営に関する情報共有が不十分である。今後は不参加家族との情報共有・交換の仕組み作りを通して更なる会議の活性化を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業の運営をする上で判断に困ったことや疑問点があった時など市の担当者に連絡を取り、必要に応じて指導をいただいている。	運営推進会議には市高齢介護課職員が参加し、会議の開催報告書は市担当課に送付している。又、集団指導等、行政主催の研修会は法人を介して情報共有し、地域ケア会議等への参加や地域包括支援センター主催の百歳体操ポイント事業への協力等、市町との連携強化に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で身体拘束適正化委員会を設置し、年2回研修を行っている。事業所内にて身体拘束をしないケアの理解を深め、職員間で共有して取り組んでいる。	法人全体で委員会・マニュアルを整備し、職員は内部研修に参加して「身体拘束はしない」必要性を認識し具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せず見守り対応をしている。不適切なケアに対しては申し送り等で共有し、職員間で注意し合える関係性もある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	法人全体で虐待防止委員会を設置し、年2回の全体研修を行っている、他に、業務の中で虐待となっている事がないか、職員同士で常に話し合い振り返っている。	/	/
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。	法人全体で研修会を開いている。事業所ではマニュアルを利用し、ミーティングを設けて勉強会を行っている。	/	/
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前には、必ずご本人に見学をしていただくようにしている。時には在宅時のケアマネージャーと連携を取り、家族の不安や疑問の解消に努めている。また、退去時にも同様に十分に説明を行っている。今年から感染対策を行いながら施設見学をしていただいている	/	/
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族からの意思・要望については、面会時や電話等で聞き取りし、職員間で話し合い広報誌で反映させている。	家族とは介護計画更新・運営推進会議参加・面会時等に職員や管理者が積極的に聴き、申し送りノートに記載して職員間で共有している。年度末には利用者・家族満足度調査のアンケートも送付している。又、家族より利用者の好きな散策や畑仕事等をさせて欲しいとの要望が多くあり、支援に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営等に関する職員からの意見や提案については、随時その機会をもうけ、反映のための努力をしている。</p>	<p>必要時の事業所会議、委員会会議、担当者会議、毎日の申し送りや半期毎又は随時の個別面談を通して、意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や個人目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員の提案により、今夏の猛暑に対し業務用エアコンを導入した経緯がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人内に人事評価制度がありそれにもとづいて、目標や評価を見直す機会がある。個人面接を行ったり、資格取得に向けた支援を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修計画に基づき、個々の能力や経験に応じた研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修や勉強会等に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上につなげている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前にはご本人との面接や各関係機関に聞き取りを行い、利用者の想いに沿える支援ができるよう家族 利用者様の思いに耳を傾け信頼関係が築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>関係機関からの情報収集や入居に至るまでの、家族の思いや家庭の事情等を十分にうかがいながら意見や要望をサービス提供に活かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族 利用者様の思いをしっかりと理解したうえで、利用者様や家族に最も適切な対応が行える様努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>何気ない日常の中で本人から発する言葉を傾聴している。言葉で表出できにくい場合の表情や本人の行動などへの把握、理解を職員同士が共有することで本人が安心して暮らしていただける支援をおこなっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃から電話連絡を行い、ご本人も電話でお話ししていただいた。随時面会もできる環境で家族との交流の機会を作っている。写真付きの便りを毎月ご家族へ送っており本人の生活の様子が分かるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域的美容院や馴染みの地域サロンへ出かけたり、近所の人やお友達が気軽に来ていただけるよう努めている。</p>	<p>現在は感染対策を施した上で多目的室での面会を可能としている。「地域との絆」「気軽に訪問できる事業所作り」を大事にしており、娘の美容院・墓参り・ドライブ途中の自宅巡り等への外出を通して、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	地域が同じ方同士が同じテーブルになるようにしたり、個々の性格に合わせて人間関係がスムーズにいくように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も可能な限り、家族の相談にのり継続的に関わりを持つように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の会話から本人様の思いを聞き、職員と話し合い可能な限り本人の思いに沿える様努めている。	利用者毎に担当者を決め、職員は利用者とはゆっくり話す中で思いを汲み取って申し送りノートやサービス担当者会議に反映する等、思いの共有に努めている。ある利用者が実はラジオ好きだという職員の情報から、夜間良眠して穏やかに過ごしてもらえるよう、ラジオを生活に導入した例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に、情報収集(家族やケアマネ)を行い話し合いを行い、生活歴や思いを把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	タブレットを導入しより細かく健康観察を行い、会話をする事によって心身の状態を把握し、安心して暮らせるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族・スタッフの意見をまとめてケアマネが計画を作成、必要に応じてそれぞれのサービス 居宅 特養とカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的にモニタリングを行い計画に反映させている。</p>	<p>介護計画作成担当者が基本情報を集約し原案を作成している。担当者会議には家族の過半数が参加して職員と介護計画を策定している。3か月毎にモニタリングを行い、1年を基本に計画の見直しを行っている。裁縫が得意な利用者に行事で使う陣羽織の作成に協力してもらった立案例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレットの導入により効率化を図り寄り添う時間を拡大し情報共有を実践し、ケアプランに活かすことができる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>感染防止のために現在は中止しているが、隣接している特養の趣味活動に参加したり、本人や家族の状況等に合わせ、意向を聞きながら柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>畑づくりを始め野菜の収穫や水やりを行っている。利用者様が楽しめるイベント計画を行っている。100歳体操の取り組みも継続している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要に応じて協力医が回診し健康状態を把握している。本人様 家族の希望により 入所前のかかりつけ病院を受診することも可能である。</p>	<p>利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は協力医を主治医としている。協力医から月に一度、協力歯科医から月に二度の訪問診療がある。又、事業所に看護師資格を有する介護職員の配置や必要時には訪問看護師の来訪もあり、適切な医療を受けられる体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の体調の変化や、異常時には直ちに協力医に連絡を行い、相談することができる。その都度指示を仰ぎ対応できている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはスタッフが付添い、病院関係者との情報交換を密にし、入院中も連絡を取り情報を得ている。また退院に向けても同様に連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	かかりつけ医と日頃より情報共有し重度化に備え、家族、本人の意向の確認を行っている。必要に応じてかかりつけ医と連絡が取れる体制がある。	利用開始時に「重度化した場合における対応及び看取りに関する指針」にて基本的な方針を説明し、了承を得ている。重度化した際には家族・医師等で話し合いを行い、指針に基づき、協力医との医療連携をもとに母体系列施設や医療機関への移行を含め、適切な支援を行う方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時はかかりつけ医に連絡し指示を受けている。応急手当・心肺蘇生の方法等を受けているものが伝授している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いの避難訓練の他に事業所独自で訓練を実施している。運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。	事業所は消防署の立ち会いを含め、年2回の避難訓練を夜間想定、利用者も参加して行い、又運営推進会議の開催日に訓練を実施している。災害時には地域の消防団員の協力や2次避難した利用者の見守りに地域住民の協力が得られる体制にある。備蓄は母体施設の厨房で一括管理している。	

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、利用者一人ひとりに対し、意思と尊厳を大切に、表情や言動に気をつけ優しく敬意のある対応ができるよう心がけ日々研鑽している。排泄時介助が必要な方以外は距離を置きプライバシーの確保を行っている。	研修で職員の幅広い知識習得と資質向上を図っている。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者への言葉かけも不適切な対応にはその場で気づきを促し、職員間で話しやすい雰囲気作りに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が遠慮なく意見や希望を言って頂ける雰囲気や人間関係、環境作りをしております。日々しっかり声掛けをさせて頂き本人様の気持ちを大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日その時の体調や気分に合わせて支援を行っている。集団生活の流れではなく個人のペースを合わせることでよりスムーズな支援が行えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝の身支度の時、整髪や化粧品をお持ちの方はつけて頂いたり 更衣時 服装等は自分で選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きや食器の片づけ、イベント時の調理など一緒に行っている。食欲のない方には食事をお皿ではなく重箱にお詰めして楽しんで食事を提供し視覚的な工夫を行っている。	併設施設の厨房で調理済みの副菜に事業所で主食・汁物を添えている。誕生日の方には松花堂弁当等の提供や月に一回のホームパーティー（調理レク）では菜園・果樹園で採れた食材も活かして栗ご飯等を職員と作っている。食欲不振の利用者に小さな重箱にむすびで食を楽しむ様になっている。	

自己評価	外部評価	項 目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	利用者の希望や状態に合わせ、量や形(キザミ・ムース)を調整している。必要に応じて、食事介助をしたり、こまめな水分補給を行い、摂取量などは詳細に記載している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後の口腔ケアを実施している。自分でできるところはしていただき後は介助している。必要に応じて歯科受診している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自立にむけた働きかけをし、個々の排泄パターンに合わせてトイレでの排泄支援をしている。	各居室には専用トイレを設け、排泄記録表で排泄パターンを把握したトイレ誘導を基本としている。尊厳やプライバシーに配慮してケアに関わり、排泄時の転倒防止に居室にポータブルトイレやセンサーマットを設置する等、状態に合わせた排泄の自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の体操、運動、食生活を工夫しながら職員間で情報を共有し、便秘予防対策を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日を決めてはいるが、本人の希望や体調に合わせて調整している。適宜足浴なども行い快適に過ごしていただける工夫を行っている。	週2回の午後浴を基本とし、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、好みの湯温や時間等で柔軟に対応している。入浴は半埋め込み式の檜風呂だが、利用者の負担を考えシャワー浴や足浴等で対応することもある。季節も楽しめる様、柚子湯や菖蒲湯の足浴を提供する等の工夫もしている。	

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	ホールや居室にて休息して頂き、 時にはエントランスのベンチで思 うように過ごしてもらっている。 安眠できる様毎日の掃除、換気、 室温の調整、環境整備を行い清 潔で過ごしやすい空間作りをして いる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬 介助・確認を行っている。症状の 変化については医師に相談して いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	一人一人の能力、趣味、生活歴を いかし、カラオケ・手芸・散歩・ 草取り・野菜作り収穫・洗濯たた み・ドライブへ出かける等の支援 をしている。また、さくらんぼや イチジク・ミカン・柿・栗などの 果樹を植え季節毎の収穫や菜園 の野菜の収穫を楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	コロナ感染の予防の為自由な外 出支援は行っていない。ドライブ に行き車内からサクラなどを見て 楽しんで頂けるよう支援している。 本人、家族からの要望あるとき は外出、外泊をさせていただい ている。	コロナ禍の緩和に応じ、利用者 の希望により一人ずつの近隣散 歩・受診等で外出している。コ ロナ禍で例年の外出行事は自 粛中だが、感染対策をして家族 同伴での外出・外泊は可能とな っている。又、紅葉狩りドライブ で集合写真等、普段は行けない ような所で「非日常」を楽しむ こともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	金銭は自己管理していないが、 移動販売などで買い物をする 楽しみを提供している。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様に手紙が来たときは説明し渡している。プライバシーに配慮しながら、字を読むことが難しい方には読み、内容を伝えている。電話のときは見守りながら、お話して頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>太陽の光が差し込み明るいホールでは気の合う方向士でテーブルを囲み、お話が弾んでいる。エントランスではベンチに座り鳥の声や風の音、四季折々の果樹や家庭菜園で季節感を味わっていただいている。</p>	<p>白を基調としたリビングの天井は高く、中庭を取り巻く廊下には広い開口部を設け、明るく開放的な設えとなっている。檜風呂等の寛げる空間や地熱利用24時間換気システムで温もりのある空間となっている。又、エントランスにはベンチを据え、両ユニットの交流空間ともなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ホールは自然に人が集まり歌を唄ったり、ゲーム、フットマッサージをしたり、読書、テレビを観たりと思い思いに楽しまれている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人やご家族の希望に応じて在宅で使用されていた慣れた家具などを使われている。家族からのプレゼントや写真などの飾り、落ち着ける空間作りに努めている。</p>	<p>居室はベッド・クローゼット・洗面台等と共に窓の内側に障子を入れた和の設えで、専用トイレも設置している。調度品等、使い慣れた物や和太鼓等、好みの物を持ち込み、居心地よく過ごせる様にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>浴室、居室等何がどこにあるかわかりやすく名前を付けている。分かりやすく名前を付けることで理解が困難な方の対応は付き添い慣れて頂けるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(西棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	普通で当たり前の生活を理念に掲げ本人のニーズを把握しアセスメントを行う。それに基づき、職員同士が共有し実践することで本人が望まれる生活に近づける支援を行っている。職員一人一人が認知症ケアの専門職として意識を持ち本人の能力を活かせる支援をおこなっている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方々とは、行事や災害時の協力など地域とのつながりを日頃より大切にしており定期的に運営推進会議にも参加していただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター育成研修などランチと協力し、地域の認知症についての理解を深める取り組みを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	令和4年度はコロナ対応のため書面で行った。今年度からは運営推進会議で様々な立場の方々の意見をいただき、ご利用者様への支援の振り返りや接遇面の改善につなげている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業の運営をする上で判断に困ったことや疑問点があった時など市の担当者に連絡を取り、必要に応じて指導をいただいている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で身体拘束廃止委員会を設置し、年2回研修を行っている。事業所内にて身体拘束をしないケアの理解を深め、職員間で共有して取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	法人全体で虐待防止委員会を設置し、年2回の全体研修を行っている、他に、業務の中で虐待となっている事がないか、職員同士で常に話し合い振り返っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人全体で研修会を開いている。事業所ではマニュアルを利用し、ミーティングを設けて勉強会を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前には、必ずご本人に見学をしていただくようにしている。時には在宅時のケアマネジャーと連携を取り、家族の不安や疑問の解消に努めている。また、退去時にも同様に十分に説明を行っている。今年から感染対策を行いながら施設見学をしていただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族からの意思・要望については、面会時や電話等で聞き取りし、職員間で話し合い広報誌で反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営等に関する職員からの意見や提案については、随時その機会をもうけ、反映のための努力をしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人内に人事評価制度がありそれにもとづいて、目標や評価を見直す機会がある。個人面接を行ったり、資格取得に向けた支援を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修計画に基づき、個々の能力や経験に応じた研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域で開催される研修や勉強会等に参加して同業者とのネットワークを広げサービスの質の向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用前にはご本人との面接や各関係機関に聞き取りを行い、利用者の想いに沿える支援ができるよう家族 利用者様の思いに耳を傾け信頼関係が築けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>関係機関からの情報収集や入居に至るまでの、家族の思いや家庭の事情等を十分にうかがいながら意見や要望をサービス提供に活かしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族 利用者様の思いをしっかりと理解したうえで、利用者様や家族に最も適切な対応が行える様努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>何気ない日常の中で本人から発する言葉への傾聴。言葉で表出できにくい場合の表情や本人の行動などへの把握、理解を職員同士が共有することで本人が安心して暮らしていただける支援をおこなっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃から電話連絡を行い、ご本人も電話でお話ししていただいた。随時面会もできる環境で家族との交流の機会を作っている。写真付きの便りを毎月ご家族へ送っており本人の生活の様子が分かるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域の美容院や馴染みの地域サロンへ出かけたり、近所の人やお友達が気軽に来ていただけるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	地域が同じ方同士を同じテーブルに設置したり、個々の性格に合わせて人間関係がスムーズにいくように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も可能な限り、家族の相談にのり継続的に関わりを持つように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の会話から本人様の思いを聞き、職員と話し合い可能な限り本人の思いに沿える様努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に、情報収集(家族やケアマネ)を行い話し合いを行い、生活歴や思いを把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	タブレットを導入しより細かく健康観察を行い、会話をする事によって心身の状態を把握し、安心して暮らせるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人・家族・スタッフの意見をまとめてケアマネが計画を作成、必要に応じてそれぞれのサービス 居宅 特養とカンファレンスを行いながら、計画修正を行っている。定期的にモニタリングを行い計画に反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	タブレットの導入により効率化を図り寄り添う時間を拡大し情報共有を実践し、ケアプランに活かすことができる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	感染防止のために現在は中止しているが、隣接している特養の趣味活動に参加したり、本人や家族の状況等に合わせ、意向を聞きながら柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	畑づくりを始め野菜の収穫や水やりを行っている。利用者様が楽しめるイベント計画を行っている。100歳体操の取り組みも継続している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	必要に応じて協力医が回診し健康状態を把握している。本人様 家族の希望により 入所前のかかりつけ病院を受診することも可能。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の体調の変化や、異常時には直ちに協力医に連絡を行い、相談することができる。その都度指示を仰ぎ対応できている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはスタッフが付添い、病院関係者との情報交換を密にし、入院中も連絡を取り情報を得ている。また退院に向けても同様に連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	かかりつけ医と日頃より情報共有し重度化に備え、家族、本人の意向の確認を行っている。必要に応じてかかりつけ医と連絡が取れる体制がある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時はかかりつけ医に連絡し指示を受けている。応急手当・心肺蘇生の方法等を受けているものが伝授している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いの避難訓練の他に事業所独自で訓練を実施している。運営推進会議に参加をいただき、災害時には地域の消防団員の協力を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は、利用者一人一人に対し、意思と尊厳を大切に、表情や言動に気をつけ優しく敬意のある対応ができるよう心がけ日々研鑽している。排泄時介助が必要な方以外は距離を置きプライバシーの確保を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様が遠慮なく意見や希望を言って頂ける雰囲気や人間関係、環境作りをしております。日々しっかり声掛けをさせて頂き本人様の気持ちを大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日その時の体調や気分に合わせて支援を行っている。集団生活の流れではなく個人のペースを合わせることでよりスムーズな支援が行えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝の身支度の時、整髪や化粧品をお持ちの方はつけて頂いたり 更衣時 服装等は自分で選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブル拭きや食器の片づけ、イベント時の調理など一緒に行っている。食欲のない方には食事をお皿ではなく重箱にお詰めして楽しんで食事を提供し視覚的な工夫を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者の希望や状態に合わせ、量や形(キザミ・ムース)を調整している。必要に応じて、食事介助をしたり、こまめな水分補給を行い、摂取量などは詳細に記載している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアを実施している。自分でできるところはしていただき後は介助している。必要に応じて歯科受診している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>自立にむけた働きかけをし、個々の排泄パターンに合わせて トイレでの排泄支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々の体操、運動、食生活を工夫しながら職員間で情報を共有し、便秘予防対策を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日を決めてはいるが、本人の希望や体調に合わせて調整している。適宜足浴なども行い快適に過ごしていただける工夫を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ホールや居室にて休息して頂き、時にはエントランスのベンチで思うように過ごしてもらっている。安眠できる様毎日の掃除、喚起、室温の調整、環境整備を行い清潔で過ごしやすい空間作りをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医の管理・指示の下に服薬介助・確認を行っている。症状の変化については医師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人の能力、趣味、生活歴をいかし、カラオケ・手芸・散歩・草取り・野菜作り収穫・洗濯たたみ・ドライブへ出かける等の支援をしている。また、さくらんぼやイチジク・ミカン・柿・栗などの果樹を植え季節毎の収穫や菜園の野菜の収穫を楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ感染の予防の為自由な外出支援は行っていない。ドライブに行き車内からサクラなどを見て楽しんで頂けるよう支援している。本人、家族からの要望あるときは外出、外泊をしていただいている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭は自己管理していないが、移動販売などで買い物をする楽しみを提供している。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様に手紙が来たときは説明し渡している。プライバシーに配慮しながら、字を読むことが難しい方には読み、内容を伝えている。電話のときは見守りながら、お話して頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>太陽の光が差し込み明るいホールでは気の合う方同士でテーブルを囲み、お話が弾んでいる。エントランスではベンチに座り鳥の声や風の音、四季折々の果樹や家庭菜園で季節感を味わっていただいている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ホールは自然に人が集まり歌を唄ったり、ゲーム、フットマッサージをしたり、読書、テレビを観たりと思い思いに楽しまれている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご本人やご家族の希望に応じて在宅で使用されていた慣れた家具などを使われている。家族からのプレゼントや写真などの飾り、落ち着ける空間作りに努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>浴室 居室等何がどこにあるかわかりやすく 名前を付けている。分かりやすく名前を付けることで理解が困難な方の対応は付き添い 慣れて頂けるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(東棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 誠心園グループホーム

作成日 令和5年11月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の仕組み作りが出来ていない。	運営推進会議の活性化を図る。	参加者が主体的に動ける様に働きかけ、参加されていない家族との情報共有を図る。	4か月
2	35	事業所内での災害対策の取り組みを明確化する。	事業継続計画 (BDP) に基づく事業所内での役割を把握、具体的に動く。	BCPを基に立案、プロセス、見直しなどを具体的に行う。	4か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。